

夢 現

～ 自分と向き合う ～

愛西市立八開中学校
2年道徳通信
令和3年4月23日
No. 2 (道徳)



「じぶんの「よさ」を見つめよう」～道徳「優しさの光線」を通して考えました～

主人公の翔は、養護の藤崎先生からの「将来の夢は何？」という質問に「僕にはまだ、わからないんです。得意なことも好きなこともないんです。」と答えました。将来の夢が見えず自信を失っている翔ですが、ある日の夕方、街で小さな犬を抱いて歩く藤崎先生に出会います。その犬は動物愛護センターからもらってきた犬で、抱いてもぶるぶる震えています。翔は不安そうにしているその犬の姿と自分自身を重ね合わせます。しかし、翔が抱くと、犬の震えが止まりました。「翔君から、優しさの光線みたいなものが出ているのね」と認められた翔は自分自身の「よさ」に気が付き始めます。授業では、翔の気持ちの変化に注目し、テーマについて考えました。

●● ●●くん

僕は、自分のよさをフル活用して、やがては人に頼られるくらいになりたいです。

●● ●●くん

自分のよさについて、自分ではよく分からなかったけれど、人に聞くとよく分かった。このよさを生かすためにいろいろな人と関わって自分のよさを磨きつつ、相手のよさも見つけられるようにしたい。それから、自分でもよさを見つけれられるようにしたい。

●● ●●さん

友人に教えてもらった自分のよさを自分自身として受け止める。自分のよさを自分で見つけるのは、自分のことを控えめに考えてしまうから難しいと思った。

●● ●●さん

自分のよさを仕事に生かしたい。動物関係の仕事に入って仕事で生かしたいと思った。

●● ●●くん

自分のよさについてはあまり考えたことがなかった。だけど今回の授業で自分のよさについて知ることができたので、これからも生かしていきたいと思う。

●● ●●くん

自分のよいところや他の人より長けているところをしっかりと認識し、それを磨き、その力でいろいろな人を笑顔にしたり救ったりしていきたい。自分の長所を十分に発揮できるような仕事につきたい。

●● ●●さん

今日の勉強では、自分のよさについてやりました。自分のよさは自分じゃ分からないから、周りにも聞きたいです。本当の自分のよさは自分では分からないものだと思います。

●● ●●さん

友達に明るいところがいいって言われて気付いたから、もっと明るくなって自分の周りにいる人みんなが明るくなるようにしたいです。

●● ●●さん

今後、話し合った時や何かを任せられたときに、教えてもらったよさを生かしていこうと思う。また、人のいいところをたくさん言ったり言われたりすると、改めて「こう思っている」「思われている」と気付けた。悪い方向につながらないように、よい方向に「正直」とか「気が強い」というところを生かしていけたらよいと思う。自分も前向きに将来を考えていきたい。

